

「クリムト 黄金の騎士をめぐる物語」展は、会期後半に入り、連日多くのお客様にお越しいただいています。

今週末は、土曜日に4万人目のお客様を迎えました。

4万人目のお客様は、日進市からいらっしゃった槇(まき)さん(写真中央)。

以前からクリムトがお好きだったそうで、中学校時代からのご友人、加藤さん(写真右)を誘ってのご来場でした。

また、ぜひ連れ立っておいでください！



↑ 恒例となった記念品贈呈。

そして、本日日曜日には、関連イベントとして、10階フォーラムにて「ウィーン・ガラ・コンサート」を開催しました。

クリムトの活躍したウィーンを舞台に、この街を音楽の都とした立役者たちの作品が演奏されました。

演奏は、波馬朝加さん(ヴァイオリン)、柴田祐太さん(オーボエ)、金澤みなつさん(ピアノ)の三人。

また、演奏の間には、中村ゆかりさんによる作曲家や作品にまつわるお話もありました。



↑ 展望回廊への階段おどり場をステージに見立てる趣向。



↑ ヴァイオリン、オーボエ、ピアノによる三重奏。



↑ 演奏の間にはお話も。

第 14 回分離派展のテーマにもなった作曲家ベートーヴェン。そのピアノ・ソナタ第 14 番でコンサートは厳かに始まり、シューベルトやブラームスの名曲が続きました。

最後は、第二次世界大戦後のウィーンを舞台にした映画『第三の男』のテーマ曲で締めくくられ、クリムトの時代を越えて、ウィーンの世界に思いを馳せることのできる構成となっていました。

本日のコンサートには、なんと300人近くの方にお集まりいただきました。

このコンサートを目当てにご来場された方もあったのか、展覧会の方も、開幕以来最高の入場者数を記録しました。

展覧会の会期も残すところ、あと2週間となっております。

“戦う芸術家”クリムトの世界をお見逃しなきよう、ぜひご来場ください。

(S.N.)